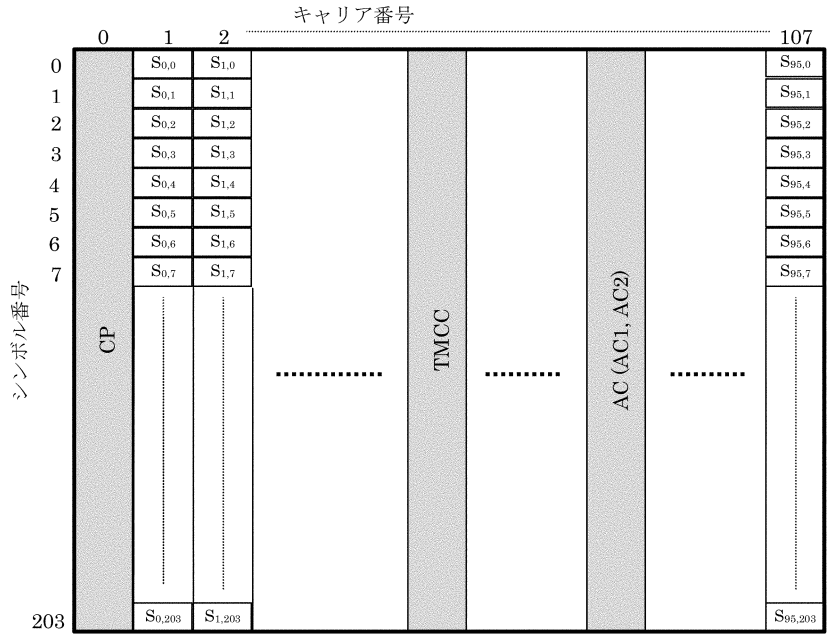
別表第七号　ＯＦＤＭセグメントにおける伝送主シンボル、ＳＰシンボル及びＣＰシンボルの配置（第11条第２項関係）

１　伝送主シンボルが差動変調（４分のπシフト差動４相位相変調）による場合のシンボルの配列



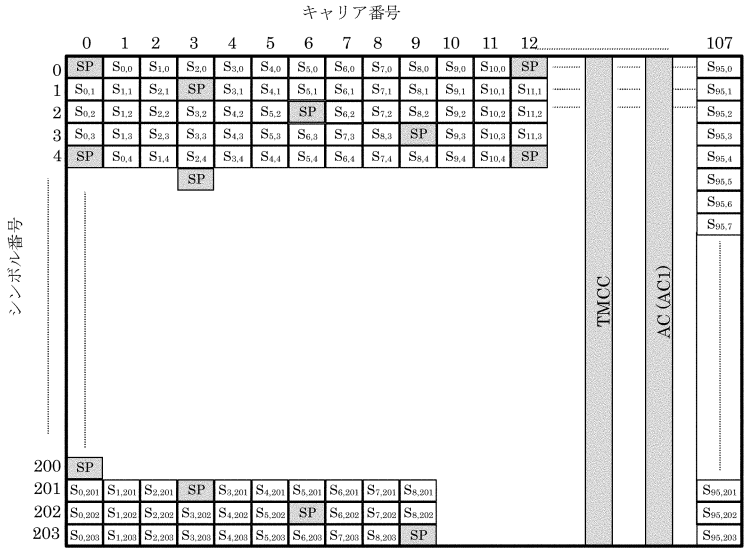
注１　$S_{i,j}$は、周波数インターリーブ後のデータセグメント内のシンボルを示す。

２　図はモード１の場合のシンボルの配列を示す。モード２の場合はキャリア番号は０から215、モード３の場合はキャリア番号は０から431とする。

３　ＣＰはＣＰシンボルを示し、キャリア番号０番に挿入する。

４　ＡＣ（ＡＣ１、ＡＣ２）はＡＣシンボルを示し、ＡＣ１は差動変調、同期変調ともに用いられる付加信号とし、ＡＣ２は差動変調のみに用いられる付加信号とする。

２　伝送主シンボルが同期変調（４相位相変調、16値直交振幅変調及び64値直交振幅変調）による場合のシンボルの配列



注１　$S_{i,j}$は、周波数インターリーブ後のデータセグメント内のシンボルを示す。

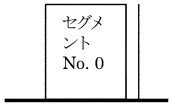
２　図はモード１の場合のシンボルの配列を示す。モード２の場合はキャリア番号は０から215、モード３の場合はキャリア番号は０から431とする。

３　ＳＰはＳＰシンボルを示し、キャリア番号方向については12キャリアに１回、シンボル番号方向については４シンボルに１回挿入する。

別表第八号　ＯＦＤＭフレームの変調波スペクトルの配置（第11条第３項関係）

帯域の右端にはＣＰシンボルに対応するキャリアを配置する。

１　１セグメント形式のＯＦＤＭフレームを単独で送信する場合



２　３セグメント形式のＯＦＤＭフレームを単独で送信する場合

セグメント番号０は、部分受信部とする。

